

デジタル印刷物比較検査ソフト



# Ken<sup>2</sup>Pa!

ケンケンパ!

## どんな条件でもデジタル検査出来れば 印刷物の品質は確実に保証されます。

ケンケンパ! はあらゆる条件下でデジタルデータの内容を検査することが可能です。

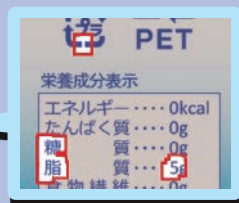
従来の【初校】対【再校】だけでなく…



### デジタルデータでありながら、これら全ての検査を可能にしました

しかし、どんな組み合わせで検査出来ても、不良が見えなければ意味がありません。

その一般的な検査ソフト、  
不良が埋もれて結果がこんな風になっていませんか?



ケンケンパでは  
どんな組み合わせの検査でも  
不良が「見えます」

#### ● ダイレクトPDF入力 (オプション)

PDFダイレクト入力が可能になりました。Adobe Acrobatと互換性があり親和性の高いAdobe PDF Libraryを採用!

#### ● 検査結果保存

これまでのビューワー、プリント画像に加えPDFレポートが追加されました。また、Macユーザー向けにWebブラウザでアオリ表示が可能なHTMLブリンク形式での保存が可能となります。

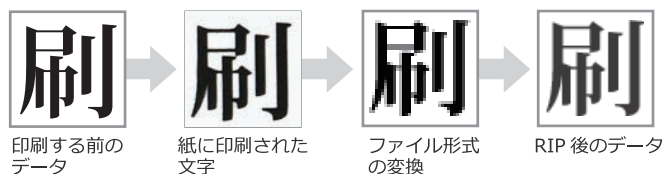
#### ● バーコード検査

バーコードのデコードおよび品質保証機能をオプションにてご用意 ※ホールマーク クライアントにて提供

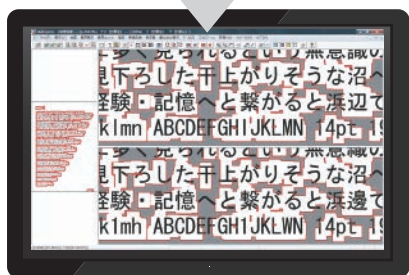
# 「できない」を「できる」に、一歩先を行く検査エンジンがデジタル検査を変えます

## 一般的な検査ソフトの抱える問題点

例えばDTPから印刷までの工程の間に、  
文字ひとつを見てもここまでの変化が生じています



一般的な検査ソフトはこの差を全て不良だと検出し  
検査結果はこの様になってしまいます。

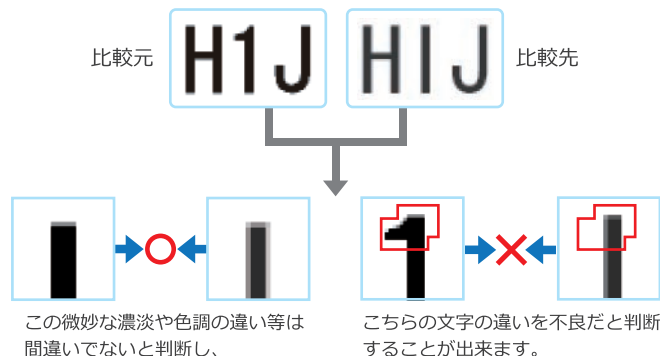


差のある部分が赤枠で囲まれ不良箇所として表示されています。

見つけるべき不良が埋もれ  
「色々な組み合わせの検査が可能」と言いながら、  
**実際の現場では「不良を見つける」ことが出来ません。**  
多くの一般的な検査ソフトが抱える問題がここにあります。

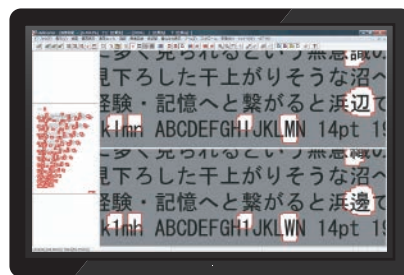
## 一歩先を行くアイマイン・エンジン

例えばこの様な比較検査をアイマインが処理すると…



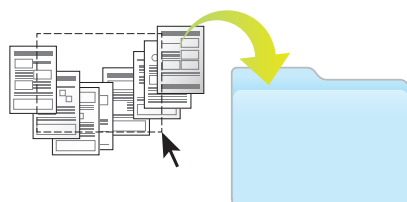
その結果

**「その時見つけるべき不良を見つける」という、  
検査ソフト本来の役割を果たすことができます。**

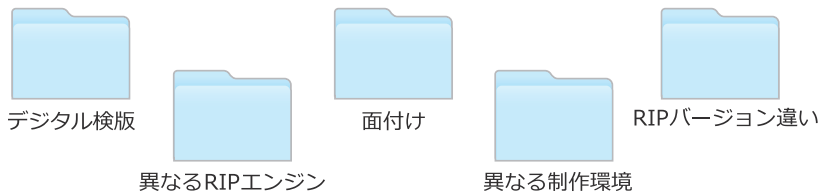


## 検査は自動でかんたんに

フォルダにドラッグするだけで  
自動で検査がスタート!



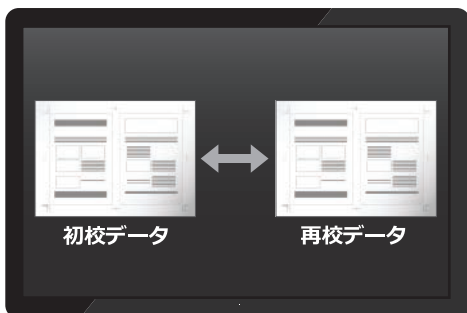
用途や検査の特徴に合わせて様々な検査用フォルダを作っておけば後は自動検査!



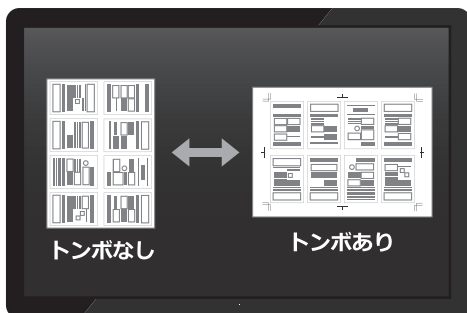
## ケンケンパが可能にした様々なデジタルデータ検査をご紹介します

基本的な、2つの画像を比較する検査はもちろん、条件が違ってても検査可能です

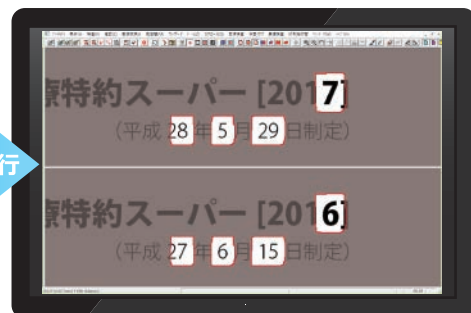
DTP変更前と変更後で修正内容のチェック。  
オーバープリントやノックアウトの差異も検出。



トンボのなし・ありでA3、A3ノビなど用紙サイズが異なる場合や、データが回転している場合でも、自動で位置・回転方向を検出し検査します。

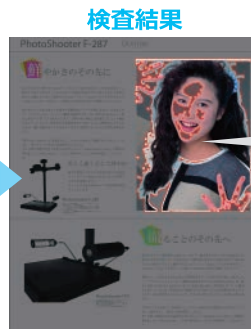
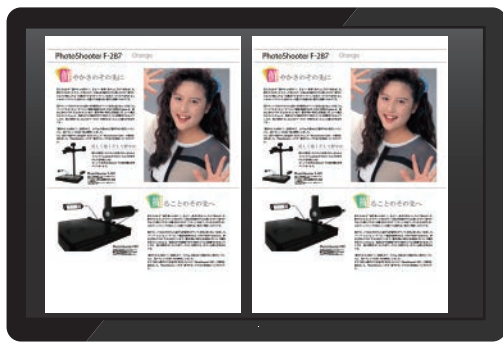


比べて差のある部分、誤植部分を赤枠で囲って強調表示。  
比較先・比較元が見比べやすく、更に重ねて交互に表示するなど不良を見逃さない表示機能が豊富です。



## ごく僅かな色調の変化でも

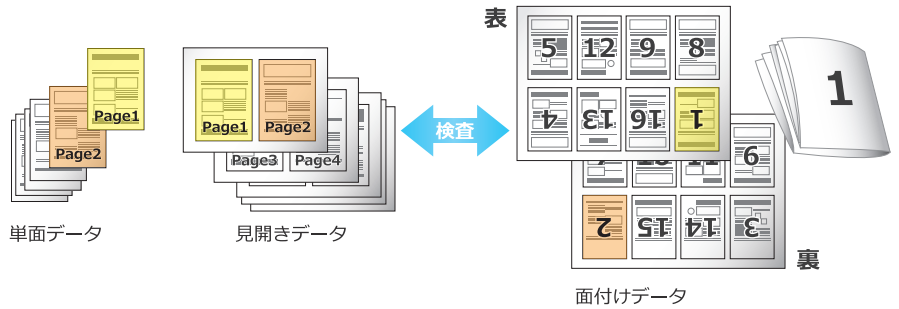
また、印刷前は判断し辛い、貼り付けられた写真の調子の違いなど、精度設定によっては、この様に0.3%程度の調子の違いも検出可能です。



印刷データの中で貼り付けられた写真、マゼンタの調子に違いのある部分のみを検出しています。

## 単面データ・見開きデータと面付けデータの検査

単面データや見開きデータと面付けされたデータでも正確に検査。折り方により表・裏に別れて面付けされている場合でも自動検査可能です。(一部オプション)



## RIPの違いなどによる検査

デジタルデータだから変化は起きない? こちらをご覧ください...

### RIP バージョンの違い



### 単面と面付けの違い



### RIP メーカーの違い

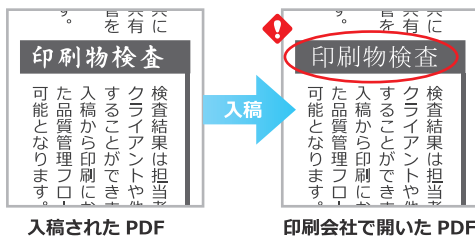


一見同じに見えるデータでも、工程の経過に伴い、実際にはこれだけの違いが生じています。一般的な検査ソフトでは、これを誤植だと判断してしまい、検査結果は警告表示だけになってしまいますが、ケンケンパ! は、これを見逃さないで判断し、本当の不良のみを検出・表示することが出来ます。

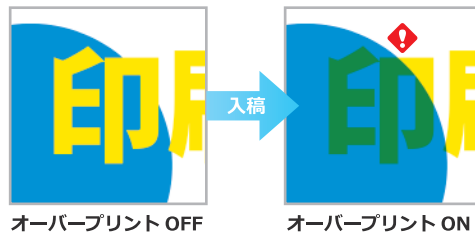
## PDF入稿データとカンブ用画像との検査

PDF 入稿では、様々な環境の違い「OSの違い」「ソフトの違い」「ソフトのバージョン違い」などにより、入稿後に思いがけない変化が出てしまうことがあります。お客様から添付されて来たカンブ画像との確実なデジタル検査が重要となります。

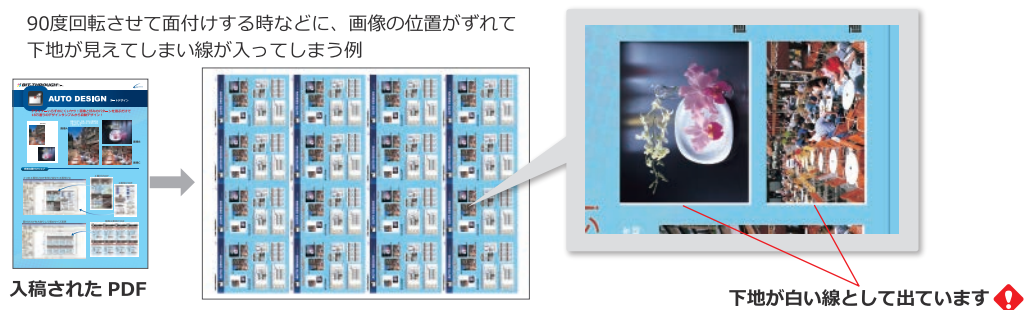
知らない間に勝手にフォントが変更されてしまったり



オーバープリントOFFで入稿されたPDFが印刷会社で開くとオーバープリントONになってしまう例



90度回転させて面付けする時に、画像の位置がずれて下地が見えてしまい線が入ってしまう例



下地が白い線として出ています



●簡単に結果を確認、見逃し無し



●結果を簡単に共有

結果確認ソフトは無料・配布自由です。離れた部署やクライアントとフォルダやメールで同じ結果を共有・確認できます。



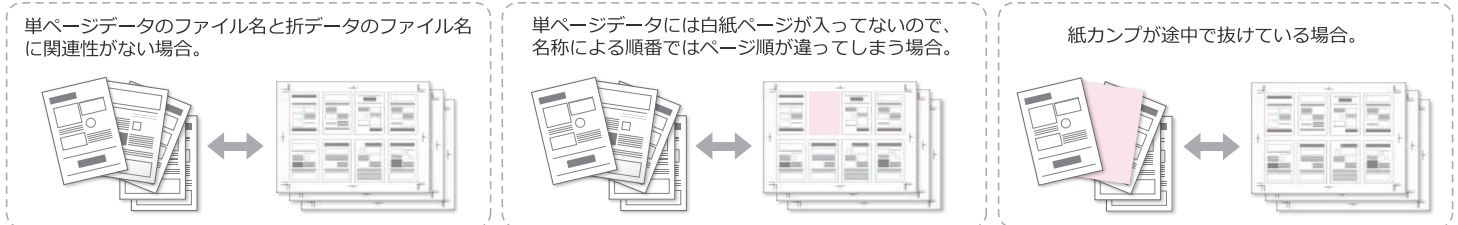
●権限別のログイン機能で一定の検査品質を維持

システム管理者、作業担当者、承認権限者など、現場の状況に合わせ、アカウント別にログイン管理する機能により、不用意に検査設定が変更されることを防ぎ、一定の検査基準を保つことが出来るようになります。



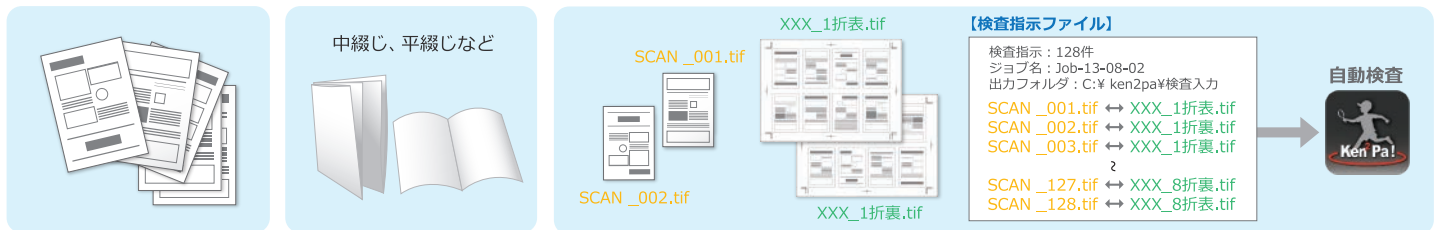
CTM シーティーエム (オプション) ¥330,000 (税込)

実際の現場に多い、以下のような様々な複雑な条件下でも、CTMを利用することによって自動検査して頂けることがケンケンパ! が選ばれる大きな理由のひとつになっています。



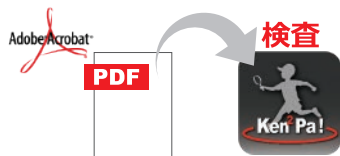
折タイプに合わせ、単ページファイルと面付けファイルを簡単に関連付けることが出来ます。

- 1 単ページデータを読み込み
- 2 折タイプを選択し
- 3 単ページファイルとどの面付けファイルと比較検査すれば良いかを関連付け、後は自動検査するだけ。



デジタルPDFオプション ¥550,000 (税込)

PDFをそのまま開いて検査を開始することが可能です。Adobe Acrobat開発ベースが同じであるAdobe PDF Libraryを採用。



Acrobat, Acrobatロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。

パッケージ内容

- 入力フォーマット
  - 1Bit/Gray/RGB/CMYK TIFF
  - Gray/RGB/CMYK JPEG
  - ※1Bit TIFF は「追加ソフトウェア」を参照
- 出力フォーマット
  - Gray/RGB/CMYK TIFF
  - Gray/RGB/CMYK JPEG
- 推奨動作環境
  - OS : Windows10 Pro/ Windows11 Pro
  - RAM : 8GB以上
  - ケンケンパ!・サーバー(1ライセンス)
  - ホールマーク クライアント(1ライセンス)
  - ホールマークビューワー(フリーライセンス)
  - イメージセレクター(フリーライセンス)

※Ver.5.1以降は64bit製品のみとなります。32bit版をお使いのお客様はバージョンアップ時に64bit版へ移行となりますので、価格など詳細はお問い合わせください。

追加ソフトウェア

**HotPrint** WindowsGDI 自動印刷ソフト  
HotPrint ホットプリント  
検査結果を逐次自動で印刷します。 ¥220,000 (税込)

**ProofMaker** 1BitTIFF からの多値 TIFF 作成ソフト  
ProofMaker プルーフメーカー  
1BitTIFFデータから通常のコンポジットTIFF画像を任意の解像度で生成します。 ¥660,000 (税込)



【開発元】  
株式会社シーティービー  
http://www.gtb.co.jp

【神戸本社】  
650-0002  
兵庫県神戸市中央区北野町3-5-3  
TEL 078(265)5385 FAX 078(265)5389  
【東京本社】  
101-0032  
東京都千代田区若本町2-8-15 井桁ビル7F  
TEL 03(6876)8768 FAX 03(6683)7279

【ショールーム・ラボ】  
651-0094  
兵庫県神戸市中央区琴ノ緒町5-7-17 小橋ビル2F  
TEL 078(265)5388 FAX 078(584)0966